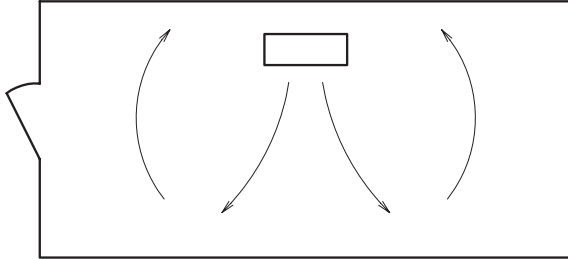


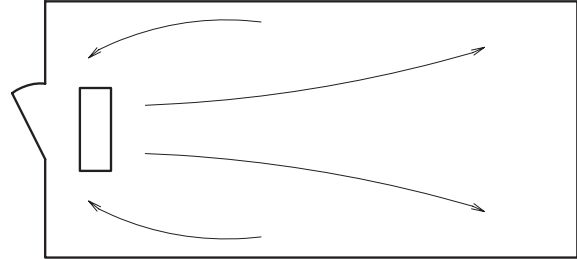
据付場所・据付方法

□据付場所（天吊型ユニットクーラー）

- ユニットクーラーと扉の距離はできるだけ離して下さい。
 ユニットクーラーを扉の付近に設置しますと、扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸込み、冷却器への着霜が増し、冷凍能力の低下や送風機の氷結の原因となります。
- 冷風の循環が良く、庫内温度ムラのない様な位置に設置して下さい。
 扉からなるべく遠く、吹出し方向が扉と平行になるように設置するのが適切です。

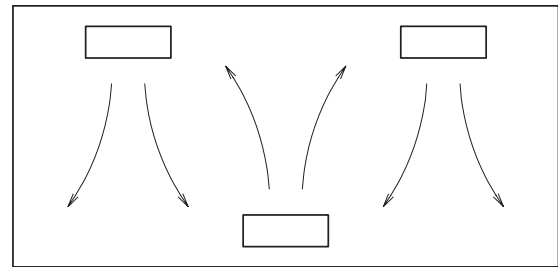
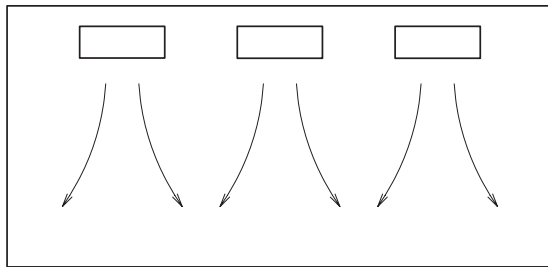


(良)

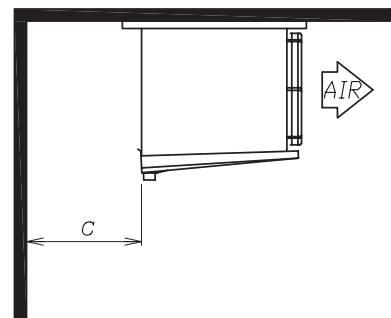
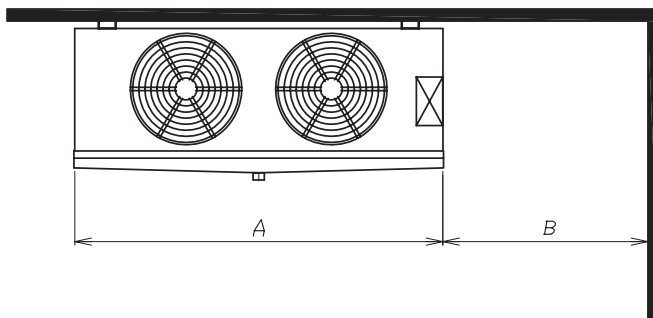


(不可)

- 庫内に複数台のユニットクーラーを設置する場合は、片側に並べて下さい。やむなく両側に向いあう場合は、送風の到達距離やユニットクーラーの配置を考慮して、冷風が相互に影響を受けないよう十分な距離を取って下さい。



- ユニットクーラーの端子ボックス側と庫内壁面との間隔（B 寸法）や、吸込側後部と庫内壁面との間隔（C 寸法）は、下図のように冷気の循環・取付工事・サービス等を考慮し取付けて下さい。



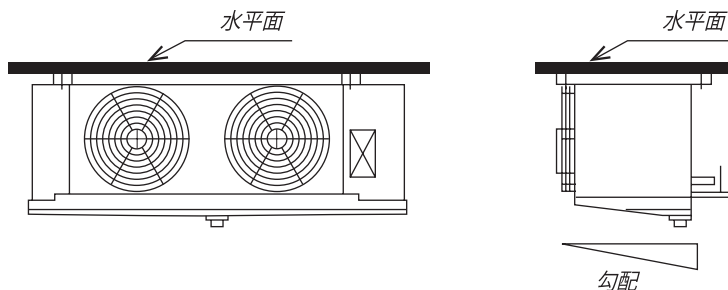
型 式	B 寸法	C 寸法
C 型、TC 型、特型	500mm 以上	—
N 型、V 型、K 型、TN 型、特型	500mm 以上	500mm 以上
F 型、DF 型、S 型、DS 型、HA 型、TF 型、TDF 型、特型	“A 寸法 - 50mm” 以上	500mm 以上



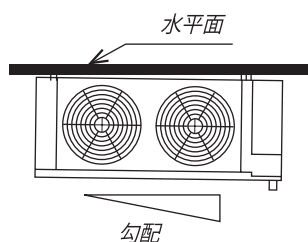
□据付方法（天吊型クーラー、床置型クーラー共通）

- 搬入の際にクーラー及び付属品に欠品がないか、また輸送中の事故などにより破損していないか確認して下さい。
- 搬入の際、製品に歪みや対角の狂いが生じないように吊り角度は60度以上とし、片吊りや1本吊りはしないで4点で吊って下さい。クーラー底面に防熱施工してある場合がありますので傷つけないようご注意ください。
- 排水をスムーズにするために本体（吊金具を含む）は水平に取り付けて下さい。また、取り付け後は、水を流して水はけを確認して下さい。

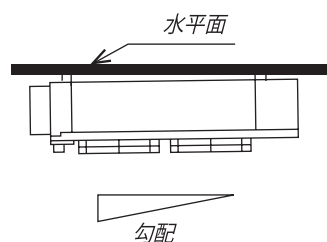
F型、DF型、
V型、K型、HA型、
S型、DS型、
TF型、TDF型



N型、TN型



C型、TC型

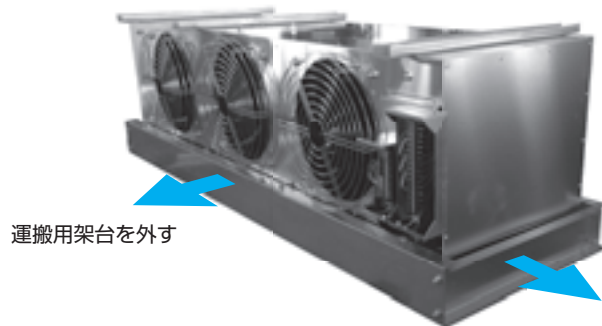


- 冷媒配管・水配管・点検用扉・端子ボックス等にはユニットクーラーを壊す原因となりますので、直接乗ったり手や足をかけたりしないで下さい。
- 庫内温度が0℃以下の場合は、ドレンヒーターを取り付け常時通電として下さい。

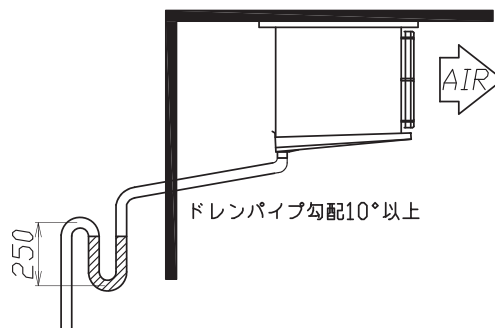
□据付方法（天吊型クーラーの場合）

- 天井（鉄骨）より、適切なサイズの吊ボルトを通してクーラーを天井（鉄骨）に密着させた状態で下側よりナットで固定して下さい。天井（鉄骨）が弱い場合は、取り付け部に補強材を入れて下さい。また、取付寸法は納入図面等を参照して下さい。
- 天吊型クーラーには運搬用架台が取りついていますので、設置後に取り外して下さい。取り外した後は、必ず締結部のボルトを増し締めして下さい。ボルトがステンレスの場合、錆まないようご注意ください。（図1）
- ユニットクーラー排水口より庫内へドレンパイプを接続します。メンテナンス性向上のため、ユニオンの取り付けを推奨します。庫内のドレンパイプはできるだけ短くして、必ず10°以上の傾斜をもたせて下さい。ドレンパイプを庫外に出した後は250mm位のUトラップを設け、外気の侵入を防いで下さい。（図2）
- 膨張弁が付いている場合は、感温筒は仮止めで付いていますので、冷媒ガス管（サクシジョン管）へ取り付けして下さい。

（図1）



（図2）



□据付方法（床置型クーラーの場合）

- クーラーと基礎（架台）に隙間ができないようにアンカーボルトでしっかり固定して下さい。また、取付寸法は納入図面等を参照して下さい。
- ドレン配管はクーラーのドレン排水口より高くないように勾配をつけて配管して下さい。ドレン配管を庫外に出した後はUトラップを設け、外気の侵入を防いで下さい。